

2006年度中間期連結決算の概要

横浜ゴム(株)(社長:南雲忠信)の2006年度中間期(2006年4月1日から2006年9月30日)の連結決算は、売上高が前年同期比10.5%増の2,224億円となった。主力のタイヤ事業で北米・アジアを中心に海外販売が好調だったほか、国内の新車用タイヤが伸びた。MB事業も高圧ホース、航空部品、マリンホースを中心に増加した。

営業利益は前年同期比31.0%減の33億円、経常利益は同23.8%減の31億円。原材料価格高騰の影響を売り上げ増やコストダウンで吸収できなかった。投資有価証券売却益42億円を計上したが、米国子会社の株式評価損に対する税効果がなくなり、純利益は同74.8%減の34億円となった。

タイヤ事業の売上高は前年同期比11.5%増の1,625億円、営業利益は天然ゴムを中心とする原材料費の大幅な上昇で同69.7%減の11億円となった。MB事業は売上高が同7.9%増の600億円、営業利益が同2.3倍の25億円となり、大幅な収益改善を達成。売り上げ増に加え、航空部品と工業資材の収益改善が大きく寄与した。

今回の業績と最近の原材料価格の動向を踏まえ、8月9日に公表した2006年度通期の業績予想を修正する。売上高は前期比8.6%増の4,910億円(前回予想比1.2%増)、営業利益は同4.3%減の210億円(同31.2%増)、経常利益は同15.9%減の160億円(同45.5%増)、当期純利益は同46.4%減の115億円(同64.3%増)を見込む。

このリリースに関するお問い合わせ先
横浜ゴム(株)広報部 担当:木下 石塚
TEL:03-5400-4531 FAX:03-3432-8430

決算ハイライト

(百万円)

	2006 年度中間期	2005 年度中間期	2005 年度
売上高	222,440	201,260	451,911
営業利益	3,304	4,786	21,947
経常利益	3,072	4,033	19,015
中間(当期)純利益	3,361	13,363	21,447
純資産	170,476	153,362	170,675
総資産	505,691	450,913	502,014
有利子負債	168,467	154,583	163,021
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,507	14,166	31,860
投資活動によるキャッシュ・フロー	(14,109)	(12,623)	(29,184)
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,706	(3,595)	(3,113)
現金及び現金同等物の期末残高	11,961	12,151	14,289
一株当たり(円):			
中間(当期)純利益	10.02	39.06	62.75

セグメント別

(百万円)

	2006 年度中間期	2005 年度中間期	2005 年度
事業別:			
売上高			
タイヤ	162,458	145,669	335,734
MB	59,981	55,591	116,177
営業利益			
タイヤ	1,126	3,712	18,109
MB	2,505	1,090	3,941
消去	(327)	(16)	(102)
所在地別:			
売上高			
日本	163,721	153,408	348,666
北米	46,138	38,257	82,186
その他	12,580	9,595	21,059
営業利益			
日本	1,489	4,077	19,622
北米	1,836	1,068	2,561
その他	59	95	241
消去	(81)	(454)	(478)

(注)所在地別の北米は米国及びカナダ。その他は欧州、大洋州、アジア